

第642回建設技術講習会(上水道行政の課題・下水道行政の課題) 日程

～上水道行政及び下水道行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(上水道) 最新の上水道行政施策(水道事業の基盤強化に向けた取り組み)、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給 など
(下水道) 最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果 など

《参加者/全国官公庁に勤務する建設関係職員300名程度(地方自治体職員9割)》

会場 …… 奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～

【合同/(2日)下水道】レセプションホール1

【(2日)上水道】 会議室1・2

〒630-8212 奈良市春日野町101 TEL0742-27-2630(代)

(1日目)	開場11:40	平成30年2月21日(水)【合同】レセプションホール1	(敬称略)
12:40	あいさつ	奈良県知事	荒井正吾
13:00		奈良市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	仲川げん男 秋山幸男
13:00	水環境改善に向けた取り組みについて	(国研)土木研究所 水環境研究グループ	小川文章
14:00		首席研究員	
14:10	目標管理型災害対応と受援のあり方	名古屋大学減災連携研究センター	平山修久
15:10		准教授	
15:20	【地域事業の紹介①】 農業集落排水施設の単独公共下水道 (月ヶ瀬処理区)への統合計画	奈良市企業局管理部下水道計画管理課	多田淳司
15:40		課長	
15:40	【地域事業の紹介②】 県域水道一本化の目指す姿と方向性	奈良県水道局業務課	浅田宏行
16:00		課長	
16:00	【地域事業の紹介③】 平城宮跡歴史公園“朱雀門ひろば”の開園について	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局	志茂佳成
16:20		平城宮跡事業推進室 室長	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		ホテルフジタ奈良 1階「ガーデンルーム」 TEL0742-23-8111	
(2日目)	開場 9:00	2月22日(木)【下水道部門】レセプションホール1	(敬称略)
9:40	最近の下水道行政について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	末久正樹
10:40		下水道企画課 課長補佐	
10:50	下水道による浸水対策の取り組みについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	二川卓矢
11:50		流域管理官付 水害対策係長	
13:00	下水道資源の有効利用について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	土屋美樹
14:00		下水道企画課 資源利用係長	
14:10	東日本大震災における南蒲生浄化センターの復旧について	仙台市建設局下水道事業部	加藤公優
15:10		南蒲生浄化センター 所長	
15:20	下水道における最新の技術開発動向について	日本下水道事業団技術戦略部	白崎亮
16:20		次長	
16:20	閉会のあいさつ	奈良県建設技術協会 会長 (奈良県県土マネジメント部 まちづくり推進局長)	金剛一智
(2日目)	開場 9:00	2月22日(木)【上水道部門】会議室1・2	(敬称略)
9:40	水道法改正に向けて ～水道行政の現状と今後のあり方～	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課	出口桂輔
10:40		課長補佐	
10:50	水道におけるアセットマネジメント、IoTを活用 した取り組みについて	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課	堀田卓
11:50		復興第二係長	
13:00	水道水質管理の最近の動向について	厚生労働省医薬・生活衛生局	田中美奈子
14:00		水道課水道水質管理室 係長	
14:10	平成29年7月九州北部豪雨に伴う被災地への支援について	北九州市上下水道局水道部配水管理課	穴井光明
15:10		課長	
15:20	現場における危機管理 ～事故防止と技術の継承に向けて～	(公社)日本水道協会 工務部技術課	田口恒夫
16:20		技術専門監	
16:20	閉会のあいさつ	奈良市建設技術協会 会長 (奈良市建設部長)	杉野高広
(3日目)	集合 7:45～	2月23日(金)【現場研修】	(敬称略)

JR奈良駅西口(8:15)出発

→ JR奈良駅周辺整備事業(下車説明) → 奈良県桜井浄水場(下車説明)

→ 奈良県浄化センター(下車説明) → 昼食(奈良市内)

→ 平城宮跡歴史公園事業(下車説明) → JR奈良駅(15:00)/近鉄奈良駅(15:15)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS認定プログラム(予定) 【聴講/現場】全建:8単位/3単位、CPDS:0ユニット/0ユニット